



担当：近畿中国森林管理局 企画調整室長 諏訪
連絡先：大阪市北区天満橋1-8-75
TEL 050-3160-5682（企画調整室）
メールアドレス kc_kikaku@rinya.maff.go.jp
ホームページ http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku/

平成20年4月21日

『美しい森林づくり』に向けて ～平成20年度近畿中国森林管理局重点取組～

近畿中国森林管理局は、地球温暖化防止をはじめとする森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、間伐等の森林整備を重点的に実施するなど、『美しい森林づくり』に向けた取組を積極的に展開します。

1 地球温暖化防止のための森林吸収源対策等の推進

本年は、京都議定書の約束期間の初年度です。近畿中国森林管理局は、温室効果ガス削減の目標達成に向けた森林の整備のため、間伐を積極的に推進します。

間伐等の重点的な推進

・地球温暖化防止の森林吸収目標である1300万炭素トンの確実な達成に向けて、森林吸収源の対象森林となるよう間伐等を強化していくこととし、積極的に森林整備を推進します。

本年度は、約6,900ha（ガソリン約1,470万リットル相当のCO₂の削減としてカウント）の間伐を実施します。



【列状間伐による森林整備】

森林整備の効率化や木材の利用拡大

・施業の共同化の促進、低コスト路網作業システムの導入・普及、システム販売を通じた木材の安定供給の拡大を推進します。



【高性能林業機械による木材の搬出】

スギ花粉の少ない森林への誘導を推進

・京阪神圏等への花粉の飛散に強く影響を与えると推定されるスギ林を中心として、花粉の少ない森林への誘導を推進します。

2 国民参加の森林づくり・人づくり

森林づくりに関心を寄せる多くの市民や企業などが気軽に活動に参加できるよう多様な取組を推進するとともに、未来を担う子ども達が、森林・林業に関する理解を深め、自らの生きる力を育むことにもつなげる森林環境教育の取組を進めます。

森林ボランティア活動の支援

・森林ボランティアの活動フィールドとなる「ふれあいの森林」の整備を進めるとともに、森林ボランティアリーダー養成スクールのフォローアップ、森林・林業の普及に関するネットワーク会議の開催等により、森づくりに関わるNPO等の活動を支援します。



【ボランティアと連携した森林教室】

「法人の森林」を活用した企業のCSR活動の支援

・「法人の森林」の設定や企業とNPOとの協働による森林づくりなど、国有林のフィールド提供を通じ、企業の森林づくりへの参加を積極的に支援します。



【法人の森林を活用した森林整備】

「箕面体験学習の森」の整備

・広葉樹の育成や菊炭づくり体験等を通じ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上を目指す「箕面体験学習の森」を整備をします。



【箕面体験学習の森】

「森林環境教育プログラム」の普及

・昨年作成した森林環境教育プログラムを活用し、教育機関等多様な主体と連携しつつ森林環境教育を推進します。

3 木の文化の再生・創造

京都・奈良等の世界文化遺産に隣接する国有林において、景観に配慮した森林づくりを進めるほか、社寺等の歴史的木造建築物の修復用資材を供給することにより、木の文化の再生・創造に努めます。

古都を彩る森林景観づくり～京都伝統文化の森推進協議会～

・世界文化遺産の背景林として重要な位置にある京都東山風景林について、一般市民や民間企業等の参画による古都京都を彩る森林景観づくりを推進します。



【京都東山風景林】

歴史を未来へつなぐ森林づくり

・歴史的木造建築物の修復用資材の供給に取り組むとともに、これらの建築物と一体となった森林景観の保全等を推進します。

4 野生鳥獣との共生を目指した森林づくり

野生鳥獣の保護管理と森林等への被害対策を一体的かつ効率的に進めます。また、地域の豊かな自然の恵みである野生鳥獣を含む森林生態系の保全と利用を図っていくための取組を推進します。

野生鳥獣による被害森林の保護・再生事業の推進

・ニホンジカの増加などにより、森林の衰退が進行している大台ヶ原地域の大杉谷国有林において、関係者の連携により、森林の再生及び保全のためのモデル事業を実施します。また、カワウによる被害が拡大している琵琶湖岸の伊崎国有林の被害森林の再生を推進します。



【大台ヶ原地域の森林衰退状況】

グリーンサポートスタッフによる巡視等の実施

・入込者が増加・集中する世界遺産周辺や百名山等の植生荒廃等を防止するため、グリーンサポートスタッフによる巡視や入込者への普及・啓発活動を実施します。



【グリーンサポートスタッフによる巡視活動】

天然力の活用等による針広混交林化の推進

・自然的・地理的条件等を考慮しつつ、人工林を針広混交林へ誘導するため、人工林内の広葉樹の天然生稚樹の発生・生育メカニズムの調査・解析に取り組めます。

5 安全・安心な国土管理を推進する治山対策の実施

国有林野の国土保全、国土防災に果たす役割を高度に発揮させるため、集中豪雨等による自然災害箇所の復旧対策を推進します。また、民有林行政等との緊密な連携、既存の治山施設の有効活用などにより効果的・効率的な治山対策を実施します。

自然災害の早期復旧

・自然災害によって、山崩れなどの荒廃が発生した山地について、地元自治体等との調整を行いながら、早期復旧に努めます。



【荒廃山地を森林へ復旧】

効果的・効率的な整備の推進

・国有林・民有林が連携して治山対策を実施する「特定流域総合治山事業」を一層推進します。
・既存施設の治山施設を有効活用した効率的な整備を行います。



【コンクリート型枠に間伐材丸太を活用】

間伐材等木材利用の推進

・事業の実施に当たっては、間伐材等の木材利用、PRを積極的に進めます。

6 「美しい森林づくり推進国民運動」の積極的な普及・PR

地域や市民団体との共催による各種イベント等の開催を通じた普及・PRに率先して取り組み、その推進を図ります。

- ・水都おおさか森林の市
- ・古都を彩る森林景観づくり
- ・古都のマツ 緑の復活プロジェクト
- ・グループ対抗里山デジカメ選手権
- ・森と木の絵画コンクール
- ・森林ふれあい推進事業
- ・森林管理局庁舎森林のギャラリー
- ・森林管理署等で開催する植樹祭・育樹祭、自然観察会、清掃活動等



【平成19年度「水都おおさか森林の市」の様子】